

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	医療法人社団 清風会 富士見台病院 病棟増築工事	階数	地上3F
建設地	神奈川県平塚市土屋字中ノ谷1641-1他	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、防火地域:指定なし	平均居住人員	100床 人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,840 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年8月 予定	評価の実施日	2017年5月18日
敷地面積	6,912 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 伊藤善三郎建築研究所
建築面積	1,964 m <sup>2</sup>	確認日	2017年6月15日
延床面積	4,988 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社 伊藤善三郎建築研究所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	88%
③上記+②以外の	88%
④上記+	88%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Q のスコア = 2.9

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

**LR 環境負荷低減性** LR のスコア = 3.2

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>病床の機能分化を進め、治療効果をあげることでできる病棟を増築し、既存棟の改修により外来機能の強化を図る。</li> <li>病院の顔となる正面玄関を南側に設けることで、バス停からのアクセスを容易にし、利便性が高く親しみやすい病院をめざす。</li> </ul>	0
<b>Q1 室内環境</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>F☆☆☆☆建材をほぼ全面に採用し、化学汚染物質の発生を減減するよう計画。</li> <li>外気量の設計基準として25m<sup>3</sup>/h・人を採用。</li> </ul>	<b>Q2 サービス性能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>病室の室面積を十分に確保し、室内空間の快適性に配慮し計画。</li> <li>機器、配管の支持方法に対し、耐震クラスSを採用し、信頼性に配慮。</li> </ul>
<b>LR1 エネルギー</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>建物の断熱を適切に施し、外壁や窓を通しての負荷軽減に配慮し計画。</li> </ul>	<b>LR2 資源・マテリアル</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>自動水栓、節水型便器の採用。</li> <li>床シート用接着剤に有害物質を含まない材料を使用。</li> </ul>
	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>スタッフや患者が植栽管理・清掃活動を行うなど、建物の維持管理に対して利用者が直接参加している。</li> </ul>
	<b>LR3 敷地外環境</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>空調と設備等に係るエネルギーの効率的利用</li> </ul>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される